子どもの国づくりだより

vol.8　平成28年3月発行

「子どもの国づくり推進協定」を通じ脱少子化県民運動に参加している皆さまの取り組み等を紹介します。

平成27年度第2回ベビーウェーブ・アクションが開催されました。

平成27年10月15日に開催された第2回ベビーウェーブ・アクションでは、会長表彰の表彰式が行われました。

この表彰は、子どもの国づくり推進協定締結企業等の中から、少子化克服のモデルとなるような取り組みを行っている企業・団体等を表彰するものです。

今年度は、「若者の定着支援」や「出会いと結婚の促進」、「出産と子育ての環境整備」に取り組む23の企業や団体等が表彰されました。

平成27年度ベビーウェーブ・アクション会長表彰 受賞企業・団体等

- ○（社福）成寿会
- ○ あきた白神農業協同組合
- ○（有）山王丸自動車
- ○ ユナイテッド計画（株）
- ○（社福）南秋福祉会
- ○ 秋田協同印刷（株）
- ○ 北日本コンピューターサービス（株）
- ○（社福）賛成福祉会
- ○（株）シグマソリューションズ
- ○ FOOD＆DRINK　パセリ
- ○（株）ミナミ保険
- ○（社福）雄和福祉会
- ○ 長田建設（株）
- ○ 小林工業（株）
- ○ 大東精機（株）
- ○（有）東幸自動車
- ○（社福）矢島惠育会
- ○（社福）あけとおり会
- ○（株）小貫建設
- ○（社福）慈泉会
- ○（社福）同心会
- ○ 横手市森林組合
- ○ 横手商工会議所

会長表彰受賞者を代表して、出会いイベントに取り組んでいる、FOOD＆DRINK パセリの鈴木代表と、地元高校生のインターンシップの受け入れや継続した新規採用を行っている、株式会社小貫建設の小貫代表取締役からごあいさつと取り組みの紹介をしていただきました。

また、会場では、今年度展開された「19 時からパパも子育て」推進事業で制作されたテレビ番組の映像が紹介され、この取り組みを行っている、秋田ビューホテルの女屋支配人から、取り組み内容や企業にとっては人件費の削減、従業員にとっては仕事と生活のさらなる充実につながる、などのメリットについて紹介されました。

ベビーウェーブ・アクションとは・・・

行政、経済界、マスコミや子育て支援団体などの64団体で構成され、それぞれの立場から少子化克服のための活動に取り組んでいます。また、「あきたの脱少子化県民運動」の通称でもあります。

ベビーウェーブ・アクション会員から

子ども･子育て支援推進能代山本地区協議会

当協議会は、子育てを楽しみ（FUN）応援する（FAN）という思いを込め、通称「FUN×FAN（ふぁんふぁん）」という名称で活動しています。主な事業は2つ。

【つながるワークショップ】協議会に登録している団体の代表のみならず、親子サークル、保育関係、行政など様々な立場の人が実際に顔を合わせ、様々な意見交換をしています。この会をきっかけに、その後別の機会で活動するなどの広がりがあります。

【外遊びイベント】毎年各市町を順に会場とし、地域の自然を体験する遊びを企画しています。今年度は藤里町の白神ぶなっこ教室（旧坊中小学校）で、雪遊びを満喫しました。子どもの年代も、乳幼児から小学生と幅広く、雪山でのそり滑りと自分で豚汁のネギを切ったことなどが特に好評でした。

これからも、子どもを取り巻く様々な人がつながり、地域の自然に目を向けて楽しい子育てを応援していきます。

子ども･子育て支援推進横手地区協議会

当協議会は、平成27年度の事業を行うに当たり、横手市や地域のサークル活動との連携を深めるため、市内で毎年実施されている「ちびっこわくわくフェスティバル」に加わって事業を実施することにしました。このフェスティバルは、地域の子育てを応援するイベントとして、また、地域の子育てサークルの活動発表の場として、横手市と子育てサークルが協同して開催している催しです。

昨年10月4日に山内公民館（横手市山内地域）で行われたフェスティバルでは、当協議会は、保健所の歯科衛生士による歯科衛生指導とバルーン･アートを実施しました。また、次の親世代である高校生にも参加を募集し、メニューのアシスタントやアンケート調査を実施してもらいました。

この日は、多くの親子（300人超）に参加していただき、大変好評を博しました。来年度はさらに多くの高校生に参加していただき、子育ての世代間交流を進めたいと考えています。

こんにちは！あきた結婚支援センターです（第８回）

企業・団体の皆様、独身従業員の出会いを応援しませんか
～「あきた結婚支援センター会員団体」への登録をお願いします～

あきた結婚支援センターでは、独身従業員の出会いや結婚を応援する企業･団体に「会員団体」への登録をお願いしています。従業員へのセンター周知や紹介、イベント情報の提供等、まずは、出来ることから取り組んでいただけます。会員団体としての登録に費用はかかりません。

現在、272の企業･団体が登録しており、今年度は会員団体同士の交流会を19回開催し、延べ107企業･団体から379人の独身従業員が参加して異業種間交流を深めることができました。従業員の出会いや結婚を後押ししたいとお考えの皆様、会員団体へのご登録をお待ちしております。

会員団体の役割

〇従業員への情報提供（出会いイベント情報の周知、参加の働きかけ）
〇センターのPR等（ポスター、パンフレットの設置、個人会員登録及びメルマガ登録の促進）
〇会員団体交流会の交流支援（交流会の開催、参加）　等

(一社)あきた結婚支援センター　TEL 0800－800－0413

● 子どもの国づくり推進協定締結団体から ●

ママファミキッズイベント ～みる きく さわる うごく たべる～ 親子であそぼ

ファンド助成団体　有限会社 次元 ママファミ編集部

五感を使ったさまざまな「あそび」などを通して、参加した親子が同年代の親子、子育て分野のさまざまな専門家と繋がってほしいとイベントを企画しました。秋田杉を使った工作やクイズ、おもちゃインストラクターによるワークショップ、食育インストラクターによる栄養のお話と味噌汁の試食、３世代で楽しめる3B体操など、多様な専門家によるステージを設け、１日中楽しめるようにしました。講師陣は全員、子育て経験者であるということも大きなポイント。さらに、助産師による育児相談コーナーやお仕事相談コーナー、ママのためのハンドマッサージなどのリフレッシュブースも用意。「キッズファッションショー」も好評で、未就園児から小学生までの子どもたちがランウェイでいきいきとした姿を見せてくれました。

来場者は約300名と、たくさんの家族にご参加いただきました。たくさんの人たちと繋がり、「秋田の子育てが楽しい！」と実感してもらえるような機会を今後も設けていきたいです。

働きやすい環境でより良い介護を

社会福祉法人 平鹿悠真会

当苑で働く職員の８割が、子育て中またはこれから子育ての可能性があります。女性職員はもちろんのこと、男性職員も積極的に育児に参加する時間を少しでも提供できればと思い、始めたのが、「ノー残業デー」と「時間単位で取得可能な有給休暇」です。「ノー残業デー」については声掛けやポスターの貼り出しにより定時帰宅を促しており、早く帰れる環境の定着につながっております。

また、「時間単位で取得可能な有給休暇」は、子どもの体調が急に悪くなり受診する際に、１日休まなくても柔軟に対応できるようになりました。

これからもパパママが仕事と子育てを両立できるように、職員同士の和を保ちながら、働きやすい環境や方策を考えていきたいと思います。

テレビ番組で「19時からパパも子育て」の取り組みをPR

樽ボジョレーヌーヴォ出会いパーティー

ファンド助成団体　株式会社 ルーラル大潟

異業種交流会と連携し、若者の交流や出会いの場を創出することにより、結婚を希望する農業後継者の未婚の解消に繋げることを目的に交流会を開催しました。

女性の参加者などから、大潟村の男性が非常におとなしいという声が多く聞こえてくるため、交流会開催前に、佐藤友子先生を講師に招き、コミュニケーションスキルアップセミナーを開催。交流会は藤田ゆうみんさんにMCをお願いし実施しました。藤田ゆうみんさんの司会やセミナーの効果があったのか、いつも以上ににぎやかな交流会となりました。後日、交流会後も交際しているカップルがいるという声もあり、スタッフ一同喜んでいます。

今後も多くの人から参加していただき、内容の充実に努め、結婚を望む未婚者を支援していきたいと思います。

コミュニケーションスキルアップセミナーを開催

秋田県社会保険労務士会から（第８回）

～ ワーク・ライフ・バランス ～

「ワーク･ライフ･バランス」。この言葉に聞き覚えのある方も多いのではないでしょうか？「仕事と生活の調和」という意味で、仕事に充実感を持ちながら、生活においても地域貢献、趣味、育児など自分に合った充実した時間を過ごせるようにしましょう！というものです。

「なぜ、今、ワーク･ライフ･バランスが注目されているのか？」少子高齢化が急激に進む日本では労働力の安定的な確保が急務となっています。「うちの会社は育児休業で休まれると大変だな」。確かに限られた人数で業務をこなす中小企業にとっては優秀な従業員の長期休業は一大事だと思います。しかし、これからは子どもを増やす＝子どもを育てやすい職場環境づくり、が大事となってきます。出産、育児を機に優秀な従業員が退職してしまうほど、もったいないことはありません。今は、産休、育休のための社会保険料の免除、各種助成金等、企業を支援する制度もあります。我々社会保険労務士も経営者の皆さんといっしょにこの問題について考えていければと思っております。

（社会保険労務士　舘岡大悟）

県からのお知らせ

● 多子世帯を対象とする奨学金と若者の県内定着に向けた奨学金返還助成制度を創設しました ●

多子世帯を対象とする新たな奨学金賞与

多子世帯における、大学・短大進学時の経済的な不安を解消するため、家庭の事情に合わせて借りられる奨学金です。

実施時期：平成28年4月入学者から対象
対　　象：子ども3人以上の多子世帯の大学生・短大生
（1世帯あたり[子どもの数－2人]までが対象）
採 用 枠：年100人
※予約採用・在学採用の合計。
ただし、平成28年度は在学採用のみです。

条　件：月額5万円
無利子貸与
借りた期間の3倍の期間で返還
他の月額奨学金との併用不可
所得制限なし
※ただし、採用枠を超える応募があった場合、成績と所得による選考を行います。

県内就職者を対象とする奨学金返還助成

大卒・高卒者等の県内定着促進のため、県内企業に就職する新卒者等を対象に、奨学金返還額の一部を助成する制度です。

実施時期：平成29年4月以降の就職者から対象とし、平成30年度から支給

区分	対　象　者	補助率	補助金上限額	補助期間	対象奨学金
一般分	①大学・短大・専門学校卒業の県内就職者 ②県内高校卒業等の県内就職者 ③Aターン就職者	2/3	13万3千円／年	大学など3年を超える貸与期間の場合は3年間 短大・高校など2年以上3年以下の貸与期間の場合は2年間	(独)日本学生支援機構（第1種、第2種） (公財)秋田県育英会 ・大学月額 ・高等学校 県内市町村奨学金（協議が整ったもの）
未来創生分	一般分対象者のうち、県が指定する「特定業種」（航空機、自動車、情報、医療福祉、新エネルギー）企業に就職する次の①～③のいずれかに該当する方 ①理系の学科（理学・工学・農学・保健）を修めた大学・大学院卒 ②英語等、特定の外国語について一定の資格を有する大学・大学院卒 ③高等専門学校卒	10/10	20万円／年		

※いずれの区分も、公務員等は対象外です。

★ 詳しい情報については、「美の国あきたネット」「秋田県就活情報サイト Kocchake!」等に掲載します。

● 行動宣言を実践しましょう ●

「ベビーウェーブ・アクション」行動宣言の冊子を配布しているほか、ウェブサイトでもご覧いただけます。行動宣言に加え、取り組みの具体例も掲載していますので、少子化克服のために、ともに行動宣言を実践していきましょう！

● 子どもの国づくり推進協定 ●

◆協定締結数
3,783 件
（平成 28 年 2 月末現在）

脱少子化の行動の輪を一緒に広げて行きましょう！

◇「子どもの国づくりだより」に関するご意見、ご感想などを事務局までお寄せください。
◇ 皆さまの取り組みなどを事務局までお知らせください。

＜発行＞ **ベビーウェーブ・アクション事務局**（秋田県企画振興部人口問題対策課）
TEL 018-860-1248　FAX 018-860-3871　E-mail jinkou@pref.akita.lg.jp
秋田県少子化対策総合ウェブサイト　ベビーウェーブ・アクション　ベビーウェーブ　検索